

いなくLa通信

井原市立稲倉小学校



1年生の さんが書いた明るい家庭作りの作文は、心が温まる素敵なお話でした。皆さんにも紹介したいと思います。

「かぞくのための わたしのやくわり」 1年

わたしのかぞくは、4人かぞくです。おとうさんは、あさはやく、しごとへ出かけます。おかあさんは、おべんとうや、あさごはんのじゅんびで、いそがしそうです。わたしとおとうとは、ごはんのいいにおいて、めをさします。

「おはよう。おとうさんは？」

わたしが、おきたときには、もういません。さみしいきもちと、くやしいきもちになります。あしたはもっと、はやおきするぞ。

あさごはんをたべおわると、わたしの出ばんです。しょつきをキッチンへはこんで、せんたくしつへむかいます。かわいたせんたくものを、ていねいにたたみます。とくいなのは、くつしたや、こどものふくです。小さいので、かんたんに、たためます。にがてなのはおとなのふくで、少したたみにくくて、じかんがかかってしまいます。

「ありがとう。たすかるよ。」

おかあさんに、よろこんでもらえると、がんばりたいと思います。おとうとも、いっしょにたたむのを、てつだってくれます。

「ありがとう。たすかるよ。」

おかあさんのまねをして、おとうとに声をかけます。そのとき、少しおかあさんのきもちが、わかったような、そんなきがしました。



わたしのやくわりは、おてつだいをし、おかあさんをたすけることと、おとうともそれをおしえることだと思います。

「ありがとう。たすかるよ。」

おかあさんが、いつもわたしにしてくれることばを、いつかわたしがおかあさんになったときに、いいたいです。